

■春澄善繩 学者官僚。当代一流で、孤高を保ち政変にも巻き込まれず、「続日本後紀」20巻完成させた。

はるずみのよしただ

田村麻呂將軍 797＝

伊勢国員弁郡で従八位下周防国大目猪名部造豊雄の子に生まれる。

幼少より聡明で、骨格は常ならず、祖父の員弁郡少領猪名部造財麿は、孫の明慧さの並々ならない点を見抜き、養育に意を用い、産を傾けても惜しくないといらほどであったという。

桓武天皇没・ 806＝ 9歳：

薬子の変・ 810＝13歳：

弱冠にして、群籍を耽読し、博覧強記で、時の好学の徒も、善繩の学問には及ばなかったという。

・ ・ ・ ・ ・ 815＝18歳：

成人の後に左京に本貫を移した。

嵯峨上皇・ 823＝26歳：

・ ・ ・ ・ ・ 824＝27歳： 奉試に及第して、俊士となり、

経国集・ 827＝30歳： 大初位下で常陸少目となり、秩俸を研精の資に充てた。

・ ・ ・ ・ ・ 828＝31歳： 兄弟姉妹5人とともに、春澄宿禰を賜わり、俊士の号を停めて文章得業生に補せられた。

・ ・ ・ ・ ・ 830＝33歳： 対策に丙第で及第し、少内記となった。

・ ・ ・ ・ ・ 832＝35歳： 従五位下、

・ ・ ・ ・ ・ 833＝36歳： *大内記に進み、拔擢されて東宮学士を兼任。

承和の変・ 842＝45歳： 従五位上、東宮学士であったが、承和の変で皇太子恒貞親王が廃された結果、周防権守に左遷されるも、

・ ・ ・ ・ ・ 843＝46歳： *文章博士として復帰し、

円仁帰国・ 847＝50歳： 仁明天皇に「漢書」を講じ、天皇に召されて酒を清涼殿で賜った折、天皇は弟子の礼をとった。

俘囚反乱始・ 848＝51歳： 正五位下、

文徳天皇即位 850＝53歳： 従四位下、

・ ・ ・ ・ ・ 851＝54歳： 出居侍従、 文徳天皇に「文選」を講じ、

円珍入唐・ 853＝56歳： 宿禰の姓を改めて朝臣を賜わり、

・ ・ ・ ・ ・ 854＝57歳： 刑部大輔。重陽節に文人らが奉った詩を評するなど、当代一流の学者であったことが知られる。

・ ・ ・ ・ ・ 855＝58歳： 詔を承けて、藤原良房・伴善男らと、4番目の国史の編集を担当し始め、

人民摂政の実 858＝61歳： 従四位上、

・ ・ ・ ・ ・ 860＝63歳： *参議となり、

・ ・ ・ ・ ・ 861＝64歳： 式部大輔を兼ね、

鴻臚館設置・ 862＝65歳： 正四位下、

・ ・ ・ ・ ・ 865＝68歳： 臨時に右相撲司となる。

応天門の変・ 866＝69歳： 応天門の変で、伴善男はじめ5人の選者が失脚し、良房と2人だけとなる苦境も乗り越えて、この間、常陸少目を始めとして、播磨少目・摂津介・但馬介・周防権守・備中介・備中守・但馬守・伊予守・右京大夫・播磨権守・近江守などの外官をも歴任している。

貞観格成立・ 869＝72歳： *「続日本後紀」20巻完成する。その序文には「参議正四位下行式部大輔臣春澄朝臣善繩」とみえる。

・ ・ ・ ・ ・ 870＝73歳： 病篤きをもって従三位が与えられたが、没した。